

タラヨウの葉（はがきの木）に七夕の願い を入れて短冊にしてみませんか？

現在、区立大田黒公園（荻窪3-33-12）で、「はがきの木」とも呼ばれる「タラヨウ」の葉に七夕の願い事を書いて飾る催しが7月1日から7月7日まで行われています。訪れた人たちの願いが書かれたおよそ60枚の短冊が、気持ち良さそうに風に揺れています。

大田黒公園は、音楽評論家の大田黒元雄氏の屋敷跡地を区が整備し昭和56年10月開園しました。区立公園としては初めての回遊式日本庭園です。

園内には緑の芝生が広がりアカマツ、ナラ、ケヤキなどと一緒に高さ8メートルほどのタラヨウの大木があります。

タラヨウの葉の裏は先の尖ったもので傷をつけると、その部分だけが黒く変色し、長期にわたって残るといった性質があります。一説には、葉に書くことから「はがき」の語源になったともいわれています。そのような由来もあり大田黒公園では、タラヨウの葉を短冊に見立て、願い事を書く催しを平成23年度から行っています。



公園で採取した葉に職員手作りの竹ペンで、訪れた人に七夕の願いごとを書いてもらい、公園事務所前に設置したモウソウチクに飾りつけるというものです。

当初は期間中の来園者が約150人でしたが、去年は約250人となり飾りつけられた短冊も300枚以上となりました。地域の方々だけでなく遠方からもこのイベントを楽しみに訪ねて来るようになりました。

今年はじめて訪れた、81歳の男性は「これからも元気に過ごしたい」と自身の健康を願っていました。

今年も7月1日（火）から7月7日（月）まで開催しています。ぜひ、ご家族やお友達と散歩がてら、また、お買い物のついでに公園まで足をのばして、ちょっと素敵な七夕の短冊を書いてみてはいかがでしょうか？

タラヨウの葉の短冊飾り

【場所】区立大田黒公園（荻窪3-33-12）

【日時】7月1日（火）～7日（月）

午前9時～午後5時（入園は午後4時半まで）

【費用】無料 【申し込み】期間中、直接会場へ

【報道機関 問い合わせ先】

区立大田黒公園 TEL：3398-5814

総務部広報課 TEL：3312-2111